

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870501636
法人名	新居浜医療生活協同組合
事業所名	グループホームあおぞら
所在地	愛媛県新居浜市南小松原町 8 - 6 8
自己評価作成日	平成23年11月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年12月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者の一人ひとりが健康で自分の好む生活を実現し、穏やかな日々が送れるよう支援させて頂いています。</p> <p>環境の整備と美化に努め心地良い生活空間作り。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者は、自治会の会議に参加して、運営推進会議の参加を呼びかけたり、災害時の協力依頼をされている。散歩時に、地域の方にお会いした際にはあいさつすることを心がけておられる。近所の一人暮らしの高齢者の方も行事にお誘いする等して、気にかけておられる。</p> <p>今年度、事業所は外出支援に力を入れて取り組まれた。近所を散歩されたり、利用者の希望を聞き取り、ショッピングセンターへ出かけて買い物を楽しみ、お茶やアイスクリームを食べて帰られた。又、マイントピア別子や東平に出かけ紅葉を楽しまれたり、「焼き肉を食べたい」と希望する方と一緒に外食に行かれた。法人のデイサービスに出かけたり、法人主催の「日帰り温泉ツアー」に参加された方もいる。</p> <p>他介護施設に移った利用者の方と、とても仲の良かった利用者の希望で職員と面会に出かけられた。利用者同士で抱き合い、涙を流して喜ばれたようだ。お孫さんから手紙が届くと、返事を書く利用者のサポートをされている。</p>

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等がサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームあおぞら

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

前谷 満里子

評価完了日

平成23年11月30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共 有して実践につなげている	(自己評価) 介護理念が目につきやすく、職員が意識出来る場所に掲示 し、利用者の支援に心掛けています。又パンフレットにも理 念を掲載し、ホームの運営方針を公開している。	
			(外部評価) 理念の一つに「地域活動に参加して地域に開かれたグルー プホームの運営に取り組みます。」と掲げておられ、事業所 の運営推進会議や行事時に地域の方達に参加いただける よう、チラシを配布して呼びかけておられる。管理者は、新 入職員に理念について説明されたり、日々の中でも職員 に、理念に立ち戻りながらケアに取り組むよう話しておられ る。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられ るよう、事業所自体が地域の一員として日常的 に交流している	(自己評価) ホームの行事へ招待し、利用者と一緒に共有の時間を過ご したり、職員も自治会活動に参加し、地域と交流している。	
			(外部評価) 管理者は、自治会の会議に参加して、運営推進会議の参 加を呼びかけたり、災害時の協力依頼をされている。建物1 階にはアパートがあり、管理者は、アパートの住人に会う時 には「騒音はないですか」等と気遣いをされている。又、散 歩時に、地域の方にお会いした際にはあいさつすることを 心がけておられる。近所の一人暮らしの高齢者の方も行事 にお誘いする等して、気にかけておられる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知 症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に 向けて活かしている	(自己評価) 自治会長、民生委員、地域住民の方を勉強会に参加して 頂いています。本年は、成年後見制度、介護相談員さん のお話し、最後迄口から食べたい等認知症の理解に努めて います。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議や家族会の場で外部評価や家族会アンケートの資料をもとに話し合いをしています。今後は、介護相談員の相談票も開示して個人情報にふれない方法で話し合っていきたいと思っています。</p> <p>(外部評価) 地域の方に興味があるようなことを考え、会議時には、外部講師を招き「口腔ケアについて」「住み慣れた地域で暮らすことを支えるグループホームとは」等の講演会を行い、地域の方とともに勉強をされている。会議の案内チラシには、講演内容を載せて配布されており、地域の方の中には「この講演内容が聞きたくて来ました」と言って来られる方もいるようだ。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 利用者の成年後見制度利用を地域包括支援センターの支援を頂き、利用を進めています。介護相談員を受け入れ意見を聞きホームの運営に役立っている。</p> <p>(外部評価) 身寄りのない利用者の方の成年後見制度の手続きや支援について、市の担当者の方と相談しながら支援されている。又、その利用者の今後の生活については、ご本人・職員・後見人・市の担当者と集まって、話し合いを行われた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束をしない、尊厳を傷つけないよう利用者のリスクファクターを理解し、一人ひとりが安全に生活出来るケアに努めている。</p> <p>(外部評価) 2階の階段降り口には、安全のために柵を付けておられ、上がり降りは職員が付き添うようにされている。管理者は、職員に「利用者にとってと言う前に、まずは利用者が何を伝えたいのかということを考えてみてほしい」と話しておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 入浴時、利用者の身体に異常はないか、確認し、何かあれば、家族への報告を徹底している。又利用者のカンファレンスを行い、スタッフが研修へ行き、技術の向上を高めている。環境作りにも努力している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 利用者の中には、成年後見制度が必要な方もいる為、成年後見制度について学んでいる。地域包括支援センターに協力を得て成年後見制度を利用しようとしている人の支援をしています。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には利用者、家族の納得が得られるまで話し合いを行い理解が得られたかを確認をしている。解約、改定には、双方会議のもと、利用者の権利を尊重する。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会、運営推進会議、地域の人々の参加による意見交換を行い、又相互研修など取り入れ外部での意見交換をし、運営に反映している。 (外部評価) 年3回、家族会を開催しておられ、ご家族の中から会長・副会長をお願いされておられる。家族会時に、外部評価結果について報告して、話し合うようにされている。又、管理者は、「運営に役立てるために意見をください」とお願いされているが、ご家族からの意見はあまり出されないようだ。事業所を利用する側であるご家族の声は、事業所のケアサービスの質向上につながることもあり、今後も意見や要望を引き出す工夫を重ねていかれてほしい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営会議を月1回実施しており、原則的に職員は、全員参加としている。又、介護部長や理事の方も参加していただき職員の意見や問題点などを協議して、事業所の運営に反映させている。	
			(外部評価) スキルアップに熱意を持っておられる職員が多く、事業所では職員の外部研修の受講を積極的にすすめ、サポートされている。研修後には「伝達講習会」を行い、受講できなかった職員にも内容を周知されている。研修で習った口腔ケア体操等を取り入れておられた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 年1回、理事と管理者、職員との間で、人事評価を行なっている。自己評価、一次評価、二次評価と細かく実施しており、それを基に、給与の改正や職場環境の改善に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修は、スタッフ一人ひとりの希望を聞きながら、随時、参加出来る様にしており、研修に行きやすい様な勤務表の作成、交通費や研修費の支給制度がある。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 毎年グループホーム相互研修の参加やケアマネージャーの研修会、愛媛県地域密着型サービス協会、他が開催する交流の場への出席を行っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 家族やケアマネージャーからの情報提供を基にして、本人とも話し合い、希望されている事、又不安とおもっている事などを聞き、本人が安心出来る様な関係づくりに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入所前には、本人、家族、ケアマネージャーなどから、要望や不安な事を聞き、又事業所の施設などについて十分説明をして密な関係づくりに努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人を中心として職員と家族との連絡を頻繁に行ったりして可能な限りの工夫を行ない対応に努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 職員と一緒に作業をしていただいたり、どんな事柄でも話し合える様にしている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に本人や家族からの要望や意向を聞き、一緒になり、安心して暮らしていける様努めている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人が昔、行った事のある場所にドライブに行ったり、以前されていた趣味などをしてもらったり、環境作りに努めてる。	
			(外部評価) 他介護施設に移った利用者の方と、とても仲の良かった利用者の希望で職員と面会に出かけられた。利用者同士で抱き合い、涙を流して喜ばれたようだ。お孫さんから手紙が届くと、返事を書く利用者のサポートをされている。管理者は、ご家族との関係が薄れないように、今後ご家族と外出したり外泊する機会を作れるよう、働きかけていきたいと話しておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者の中には、成年後見制度が必要な方もいる為、研修・講習と学んでいる。市や外部など支援の協力も受け、地域包括センターに協力を得て成年後見制度を利用しようとしている人の支援をしています。一人ひとりを理解し、身体状況、日常生活の変化に合わせて、思いやりの心で、お互い助け合って預けるよう支援しています。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所されてからも御家族、利用者の方々が安心して預けよう情報を提供し、相談に応じています。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者の要望を第一とし、家族の要望にも添えるよう連携を深め、利用者、家族の安心を図っていけるようにします。 (外部評価) 職員は、利用者の日々の様子や会話の中から個々の思いや意向を探っておられ、知り得た情報は、日々の経過観察記録に記入されている。「身体面、口腔機能面、食事、排泄、着脱、移動、コミュニケーション」等の項目に沿って、身体機能について3ヶ月ごとにアセスメントされている。	利用者主体のケアを実践していくためにも、利用者の思いや意向についての情報を集めていくような取り組みも期待される。利用者がその人らしく暮らし続けることを支援できるように、細やかな情報収集に努力していかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者、家族の生活歴など聞き取りをしっかりと行い、生活の中に馴染みのものを取り入れて暮らし預けるようにしています。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 各利用者の担当を受け持ち制とし、利用者に関わることで、利用者の方が安全に安心して暮らし預けるようサービスの質の向上をはかっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	<p>利用者の方々の要望を把握し、カンファレンスする事により、利用者・家族の思いをプランに生かし介護計画を作成しています。</p>
			(外部評価)	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	<p>日中、夜間の出来事。ケアプランの実施状況を細かく記録する事により、スタッフへの申し送りを密にし、穏やかな日常生活を送って預けよう努めております。</p>
			(外部評価)	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>利用者が各人の考えで生活され、行事等させられているという気持ちをいだかないよう各自の趣味や希望に沿って日々の生活を楽しんで頂くようにしています。</p>
			(外部評価)	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	<p>他施設と連携を図り、利用者の方々が楽しめる行事や催しに参加させて頂き、地域環境に馴染んで、暮らして頂けるようにホームの催しには、地域の方を招待しています。</p>
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用者の受診予定票を毎月作成し、適切に受診の支援をしています。訪問往診も医療連携して医療を適切に受けられるよう態勢を整えています。	
			(外部評価) 利用者が法人医療機関を受診する場合は職員が同行され、その他の医療機関を受診する際には、ご家族が付き添うようになっている。ご家族が付き添う場合には、利用者情報をまとめたものをご家族に渡しておられる。歩いて受診に行くことが難しい利用者は、月2回、法人医療機関から往診に来てくださり、必要な方のみ診てもらっている。必要に応じて随時、訪問歯科も利用されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 看護師は、訪問看護を受けている利用者の状態を報告し、双方情報を共有している。看護師は、介護職に服薬の変更や治療方針を話し、介護職が円滑に不安のない介護の実施方法を話し合っている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院時には看護師も付き添い利用者の情報提供をしています。入院中は、利用者との関係を絶つことがないように定期的にお見舞いし、家族とも話し合っています。退院に際しては、入院先の看護師と家族でカンファレンスを実施しています。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入所時より重度化や終末期について家族の意向を聞いて要望の実施にそえるよう医療機関との連携や家族の思いをスタッフで共有できるよう、カンファレンスを実施している。	
			(外部評価) 今年度は、1名の利用者の方の看取りを支援された。利用者の状態に変化がある度に、ご家族と話し合い、事業所からは、利用者にかかわるご家族全員で方針を統一してもらえよう願われました。ご家族がたくさん来られ、最期は長男の方が利用者ご本人の手をにぎり見送られた。事業所では、利用者が食事が摂れなくなったり、医療行為が必要な状態になった場合は、今後のことについて話し合うようになっている。終末期には、医師の指示を受けて看護師の協力もあり、緊急時は、協力医療機関の医師が駆けつけてくれる体制がある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 利用者は、慢性疾患や脳梗塞等の後遺症の方もおられ、症状の悪化や重篤化や転倒、転落等ハイリスクにあることを説明しており、緊急時の連絡先や搬送先の希望を入所時に決めている。介護職には、応急手当と緊急時の家族、主治医、看護師への連絡の手順を作成しています。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災については、定期的な避難訓練の2回/年の実施(消防署員からの訓練指導や助言を仰いでいる。又折には、家族や地域の方に参加してもらっている。水害や災害について、避難先は、入所時に説明しています。水や非常食を2日分位は、備えています。火災報知機等点検は、1回/年、定期的の実施し、避難通路の環境整備をし、落下物がないようにガラスの事故防止にフィルムを貼りました。 (外部評価) 初めて夜間を想定した避難訓練を実施された。災害時には、隣接するアパートの通路を使用して避難するようになっており、大家さんを通じてアパートの住民にも協力いただけるようお願いされている。夜間、災害が発生した場合には、地域の方の協力が大切であり、管理者は自治会の会議に参加し、協力をお願いされている。消防署の方からは、津波発生時の対応についてアドバイスをいただいた。	今後も、災害時のいろいろな場面を想定した避難訓練を具体的に重ねて、利用者、職員の安全・安心に向けて取り組みをすすめていかれてほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人でくつろげる場、家族と一緒に過ごす場、個人で楽しめる趣味がホームでも確立し、他から干渉を受けない場作りをする。その人が穏やかに過ごせるよう、利用者に寄り添い思いを聞き、好む生活が送れるよう支援し、自分の気持を表現し、日常生活の場で自己実現出来る趣味やライフスタイルを尊重する。 (外部評価) 職員は「自分がされて嫌な事はしない」「何事も相手の立場になって考え行動する」ことに気を付け、ケアに取り組んでおられる。管理者は、利用者が何か失敗したような場合には、「他の利用者の前で恥をかくような対応、声かけはしない」ように職員に話しておられる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 好む服装、好みの飲物、好む場所は、本人の意見をとりいれたり、外出は、本人の希望する場所へ行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 担当の職員を決めているが、どのスタッフも対応し、一人ひとりに合わせ、どのようにされたいか、希望にそって、支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 定期的に散髪をしていただき、朝には、髪をとかしていただき、服装については、バランスを考え、アドバイスをしたり、誉めたりしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員がそばにいて、もやしの根きりと声かけしながら一緒にしていただいている。海老のからむきなどもお願いしている。	
			(外部評価) 職員も利用者と同じものを一緒に食べながら「今日のお味はどうですか？」と声をかけたり、介助をされていた。牛乳が嫌いな方にはコーヒーを少し入れ飲みやすくされたり、マヨネーズが苦手な方には、和える前に取り分ける等、工夫されている。残されたものがあれば、下膳の際に声をかけてみるようにされており、何故残されたのか理由も聞いて、その後の食事作りに活かすようにされている。魚を残した利用者の方は、骨があって食べづらいことが分かり、骨を取って出すようにされた。誕生日の日には、赤飯やちらし寿司等、利用者ご本人が食べたいものをお聞きして手作りされている。利用者は、エビの殻むきやモヤシの根とり等、できることを無理なく行えるよう支援されており、干し柿作り時には、ピーラーや包丁で皮むきをされた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一日の食事の摂取量を記録し、本人の好物を摂取していただく。水分補給は、お茶や牛乳又、好みの飲料で対応している又水分摂取が困難な人々には、トロミを付けたり、茶寒天等で対応支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアも本人の力を観察し、それに応じたケアをしている。義歯などについては、歯科往診をお願いし、口腔の衛生や義歯が適合しているか診てもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) トイレ誘導の時間帯を決めて、食事の前には必ず誘導するようにしている。それでも失敗の多い方は、30分～1時間置きにトイレ誘導するようにしている。夜間は、随時、対応し睡眠を妨げないようにしている。	
			(外部評価) 排泄パターンの把握ができるよう、排泄の記録を取っておられる。排泄の訴えのない利用者には、食事の前後にトイレ誘導する等して、トイレで排泄することが習慣になるよう取り組まれている。頻回にトイレに行く利用者がおられ、膀胱炎等の心配もあり泌尿器科を受診された。医師からケアについても、リハビリパンツ等、介護用品を利用してはどうかとアドバイスがあり、実践されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 普段から、たくさんの野菜を食事にとりいれいる。それでも便秘の時は、かんげ剤で対応させていただいている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 勤務の都合上、利用者様の希望通りの時間帯には、入浴出来ない。曜日を定め、午前中に3回/週入浴されている。	
			(外部評価) 日曜、祝日以外が入浴日となっており、利用者は週3回、午前中入浴できるよう支援されている。時期によって菖蒲湯やゆず湯を楽しまれている。浴槽内、出入りに滑り止めマット、浴槽の淵には手すりを取り付け、シャワーチェア - を使用し、安全に入浴できるよう整備されている。又、浴槽に入ることを嫌がる利用者には、身体が冷えないようバスタオルを肩からかけてシャワーをかけ、足浴を合わせて支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者様が休みたい時に自室にて自由に休んで頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 副作用に注意し、症状の変化等介護記録日誌に書いている。服薬時、一人ひとり手渡して名前を確認して飲んで頂いております。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 洗濯たたみ、食事中に使用のティッシュペーパーの折りたたみ。利用者同士の助け合いや仲良しさんが双方の部屋を訪問して自分達の時間を過ごしています。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 花の鉢植えを手伝って頂いたり、他のホームの催し物に参加させて頂いたり、スーパーでの買物等して頂いております。	
			(外部評価) 今年度、事業所は外出支援に力を入れて取り組まれた。近所を散歩されたり、利用者の希望を聞き取り、ショッピングセンターへ出かけて買い物を楽しみ、お茶やアイスクリームを食べて帰られた。又、マイントピア別子や東平に出かけ紅葉を楽しまれたり、「焼き肉を食べたい」と希望する方と一緒に外食に行かれた。法人のデイサービスに出かけたり、法人主催の「日帰り温泉ツアー」に参加された方もいる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 現在、金銭の自己管理をされている方は、いません。買物等に行かれた時は、自分で選んで頂き支払いさせて頂いております。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者が希望された時は、自由に使用されています。電話等は、プライバシーの為、子機にて使用されています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関口は、プランターに季節の花が咲き、共有スペースは、適度な室温や照明に気を付けゆったりとした時を過ごせる様にして食堂と台所を別室にして、危険が無い様に、温かい食事を提供している。廊下には、歩行訓練や筋力の維持、強化を考えて手摺を付けており、窓からの採光もステンドグラスを付け明るい雰囲気作りで、懐かしのメロディが流れます。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所の廊下は、南側に面していて日当たりがよく、冬はとてもあたたかく、調査訪問時には、利用者は椅子に腰かけ日向ぼっこされたり、立ち話をする様子が見られた。夏場は日射しが強くなるために、ブラインドで日射しの調節をされる。居間には職員と一緒に作られたクリスマスツリーや利用者の習字作品が飾られていた。利用者は居間で新聞を読んだり、テレビ体操を見ながら一緒に体操を行っておられた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共有室は、大・中・小のテーブルを配置し、テレビやビデオやCDを何時でも、独りでも自由に見られる様にしたり、新聞や雑誌や塗り絵も楽しんで預ける様にしています。廊下には、ソファや椅子を置き、外の景色を眺めたり、座って話し合いが出来る様になっています。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の方が持って来られた。大切にしている品物等は、個性的な生活感あふれる部屋作りになっている。又、クローゼットが備え付けられて寝具や衣類の収納に便利です。清潔な部屋で過ごす様に、毎朝各部屋・トイレ・廊下等を掃除をして整理整頓を行っています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室のエアコン、カーテンは備え付けられている。タンスやテレビ、ベッド等を自宅から持って来られ、家具の配置等は、ご家族が利用者と一緒にされておられる。上の方には物を置かないようにして、地震時の対策をされている。ご家族がお花を飾ってくださる居室もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が出来る事を活かし、その人らしく、笑顔でいられ、自立した生活が送れる様、コミュニケーションをはかり、わかりやすい言葉遣いで声かけに務めています。食事時の椅子の位置は、同じ場所にして、トイレの使用も基本的には、各部屋の近くの決まった場所を利用して頂いています。</p>	